

「権利としての福祉・医療」の実現めざして!

医療費助成を 国の制度に!!



国会 請願署名

毎年とりくんでいる国会請願署名は、障害者、家族の要求や願いをもとに請願内容を決めています。

2012年度は、「障害者医療費助成制度」です。請願項目は、

1. 地方自治体を実施している重度障害者（児）医療費助成制度を国の制度としてください。当面、自治体への財政支援を行ってください。
2. 自立支援医療における非課税世帯の利用者負担を早急に無料としてください。

●誰もが安心して生きるために!

「健康に生きたい」という願いは国民みんなの願いです。これを国が権利として保障するのが「医療制度」です。とりわけ私たち障害者にとって「医療」は、生きていく上で必要不可欠なものです。

ところが日本の医療制度は、窓口負担3割であるため、お金のあふなしによって受診をあきらめざるを得ない状況をつくっています。私たちは医療費の負担を根本的に見直してほしいと願っています。

●大切な自治体の医療費助成制度!

この声に応え、障害者の健康を守るためにつくられたのが、各自治体の「重度障害者医療費助成制度」です。現在、47すべての都道府県で実施され、障害者の生きる権利を具体的に保障しています。しかし、近年、この大切な「医療費助成制度」の改悪がすすんでいます。

●医療は国の責任で!

そもそも、医療は、どこに住んでいても誰もが平等に、安心して受けられるべきです。だからこそ、私たちは国の責任で「医療費助成制度」を実施するよう求めています。

貧困・格差が増大する社会のなか、いまこそ「国民の健康は国が保障せよ!」の声をあげましょう。子どもの医療費助成等も含め、国が医療に責任をもつ社会に変えるためにも、私たちがとりくんでいる国会請願署名にご協力ください。



障害の違いを乗り越え、共通する願いを
行動・運動によって実現する

障全協

障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-1-2 富士ビル 4F TEL.03-3207-5937 / FAX.03-3207-5938

メール .shozenkyo@shogaisha.jp ホームページ .http://shogaisha.jp/szk/

とりくみ団体

私たちの署名にご協力ください